資料６－２

■ガイドライン骨子（案）　全体構成

１．ガイドラインの概要

１－１　ガイドラインの目的と役割
１－２　適用する防護柵の種類
１－３　適用する道路と地域
１－４　ガイドラインの構成

２．道路の景観と防護柵に係る課題

２－１　地方部の道路景観と都市部の道路景観
２－２　道路の内部景観と外部景観

２－３　防護柵の機能と設置の現状

２－４　防護柵の景観上の課題

３．景観配慮の基本理念

①構造的合理性に基づいたシンプルな形状とする
②周辺景観との融和を図る
③近接する道路施設との景観的調和を図る
④人との親和性に配慮する

４．地域特性に応じた景観配慮の考え方

・自然公園内、景勝地、河川、湖沼、海岸、樹林等の自然景観や田園風景等の良好な景観が得られる地域
・歴史的な景観を有する地域
・都市の顔となる地域
・その他の地域

５．景観に配慮した防護柵設置にあたっての留意事項

５－１　形状
・付加的な装飾の抑制
・危険箇所における視認性の確保
・人にやさしいディテールの検討
５－２　色彩
・防護柵の素材と色彩
・防護柵が設置される構造物との色彩調和
・夜間の視認性の確保
５－３　他施設との調和
・道路管理者間での調整
・整備時期のずれについての対応
５－４　コストと維持管理
・コストを考えた防護柵の設置
・維持管理を考えた防護柵の設置
・破損時等における防護柵の適切な更新
５－５　その他
・暫定供用時の景観についての検討

６．景観に配慮した防護柵の検討内容と手順